

令和6年能登半島地震 災害対策ニュース

石川県連が能登町と緊急対応に向けて協議

能登町での緊急修理（ブルーシート展張）、県連で対応

1月22日、能登町から強い協力要請があった被災家屋の緊急修理（ブルーシート展張）の協議および現地確認のため、石川県連の松本会長、嶋田副会長、任田（とうだ）会計理事、全建総連小林技対部長は能登町を訪問しました。能登町は全半壊、一部損壊合わせて5000戸の住宅被害が出ています。

能登町役場では建設水道課の鏡島（かがみしま）課長、石川県から支援に入っている大窪専門官と面会。ブルーシート展張りによる緊急対応について鏡島課長から既に853件の申し込みがあり、2月末まで受け付けることになっているので最終的には1000件を超える状況。町内業者の協力も得ながら対応しているが追いつかない。試算では200件程度のめどが立たない。出来る限りの協力をお願いしたいと厳しい現状についての説明と改めて

の協力依頼がありました。

石川県連からは、しっかり対応していきたい。一定人数でチームを編成し日帰り交代で対応する方向で各単組から対応可能な組合員を集めているところ。しかし、距離があるので1日の対応件数には限界があることは理解してほしいと回答。

鏡島課長からは、まさにできる限りで対応いただけるだけでも良いのでご協力いただければありがたい。時間の制約は十分理解するので、石川県連の協力には役場を起点に10分以内程度の範囲の家屋で、かつ、展張面積も比較的少ない案件を中心にお願いするように配慮したいと回答しました。

石川県連では今週中をめぐり第1弾のチームを編成し実施に向けた準備を進めていきます。

輪島、門前、富来の各単組を激励

能登町での協議を終えた後、県連として特に被害が大きかった輪島、門前、富来（とぎ）の各単組を初めて訪問しました。面会した各単組の役員は「よく来てくれた。当面は大変な状況が続くそうだが仲間と共に頑張る。早速のブルーシート配布はありがたかった」など訪問を歓迎しました。

▶輪島組合 上井組合長

まだ組合としての活動はできていない。対応可能な組合員は修理などのボランティアを行っている。

来週には組合員で集まって組合としての活動について考えたい。

▶門前組合 刀禰組合長

仲間は無事。しかし家屋被害で多くが避難している。避難所で感染症に罹患した仲間も。自身の作業場がなんとか被害を免れたのですでに修繕の仕事をしている。

▶富来組合 坂下前県連副会長

組合員の多くが家屋被害。自身のところにも毎日のようにシート張りの依頼がある。全然追いついていないので被災家屋の修繕は当面時間がかかるだろう。